

中道南小だより

かしく なかよく げんきよく



仲間と楽しい思い出ができた修学旅行♪

○ 今回の修学旅行のテーマ『修学旅行♪仲間と楽しい思い出を!』は、達成できたのではないのでしょうか。前号の続きの「生命の星・地球博物館」から振り返ってみたいと思います。

生命の星・地球博物館



46億年にわたる地球の歴史と生命の多様性を展示した自然系博物館。小田原市にこのようさ壮大な建物があることを知りませんでした。



相洋閣

修学旅行生がよく泊まる感じのホテル。沿津のホテルも良かったですが、何か落ち着く感じがしたのは、私だけでしょうか?!



3日目

ホテル → 鎌倉駅 → 鎌倉散策 → 鶴岡八幡宮 → 新江の島水族館
談合坂SA → 学校

- いよいよ最終日、3日目のスタート。ホテルを出発し、バスで鎌倉駅へ。全員で江ノ電に乗り、長谷駅へ。そこからは、3つのグループに分かれて、徒歩で鎌倉散策。
- おめあての駄菓子屋が閉まっていたなどのハプニングもありましたが、鎌倉大仏をはじめグループごとに何力所か見学して、鶴岡八幡宮に向かいました。
- 私は中には入りませんが、まわりの景色を眺め、各グループの様子をみながら、長谷駅から鶴岡八幡宮まで、久しぶりに鎌倉を散策しました。大人はもちろんですが、修学旅行生（小学生が多かったですが、中学生もけっこういました）にたくさん出会いました。
- 小町通りは、11月終わりの平日で、コロナの影響もあってか、人では多かったものの、ピーク時のすれ違うのも大変といった状況ではなく、6年生は行ったり来たりしながら、買い物を楽しんでいました。

海岸の散策

ホテルのすぐ近くにあった海岸。夕日が沈むまでのひと時。2日目の中で一番楽しそうでした。



「これでも6年間一緒だったのかよ〜」という李都さんの気合いのもと、何回目かで見事、そろって?ジャンプに成功!!

「私、走ってきます!」と言って突然海岸沿いの砂浜を走り出したしずくさん。青春ドラマのワンシーンを見ているようでした。



江ノ電が鎌倉駅に到着。今回の旅行で初の電車!



長谷駅から鎌倉大仏に行く途中にちょっと買い物。



お金を洗って金運アップ!これで私も大金持ちだあ〜!!



小町通りで買い物。歩翔さん、感染症対策ばっちり!

鶴岡八幡宮

鶴岡八幡宮は鎌倉幕府と共に始まり、今日まで、鎌倉の発展を見守り、支えてきました。この場所から、多くの歴史上の物語や、今に受け継がれる伝統文化が生まれました。



平成22年に台風で倒れた大銀杏。現在は(上の写真の左奥)ヒコバエ(ご神木があった場所や親木から生えた若芽)と大銀杏の幹が奉られています。



久能山東照宮の時もお祈りをしましたが、ここでは、違うお祈りをしたのでしょか？



今回お世話になった添乗員の佐野さん(鎌沢【かじかざわ】の出身だそうです)の話を真剣に聞いています。



みんな、同じ袋を持っていますか？・鳩サブレのコミーシャルでしょうか！？

新江ノ島水族館

修学旅行最後の見学地。名称、建物はわかりましたが、約70年の歴史を持つ新江ノ島水族館。今回の修学旅行で訪れた場所の中で、一番混んでいたかもしれません。



イルカの大ジャンプ！水槽は思ったより狭かったですが、上手にジャンプをしていました。



上の写真の左側が観客席ですが、けっこう密でした。6年生は比較的前の方でしたが、水しぶきは幸い？浴びなくてすみました。とても大きな建物の前で記念撮影！さすがに少し疲れ気味かも・・・



水族館のすぐ脇にある海岸及び公園。人混みが苦手な私は、少しの時間、海を眺めていました。

- 学校や家庭を離れ、様々な人々とかかわりながら、仲間と協力して「たくさん学び、たくさん楽しんで」過ごした3日間でした。添乗員の佐野さんから、「バスの乗り降りの際、『お願いします』『ありがとうございました』と言える皆さんは素晴らしい！」というおほめの言葉をいただきました。また、「1日目の夕食の後、佐野先生から注意された『5分前行動をする』『行動予定を何でも担任の先生に聞くのではなく、まずはしおりを見てそれでもわからないことがあったら聞く』といったことが、次の日には改善されていたところが素晴らしい！」といった言葉もいただきました。担任の先生に対する友だち口調は、長年しみついてしまっている人もいますが、少しずつ改善されてきています。本来はすぐにでも意識すればなおせることですが、卒業までには普通に敬語が使える習慣を身に付けていきましょう。
- 解団式の際には、私の方から、先ほどのほめられたこと、良かった点の話をさせてもらうとともに、「人間は人から注意されなくなったらおしまいです。なぜなら、この人は注意してもきかない、無駄だと思い見放されてしまっているということになるからです。誰にでも課題はあります。私のような立場、年齢になると、誰も私の良くない点を注意してくれなくなります。ならば、どうするか。つねに自分の言動を意識し、自分で気づくことです。皆さんも注意される前に気づく、あるいは6年間一緒に過ごしてきた仲間どうし、お互いに気づいたら注意することで、課題を克服し、『今年の6年生はすばらしかった』と言われながら卒業できるように、この修学旅行を機にあと4か月を有意義なものにしてください。」という話をしました。
- コロナ禍で、感染症対策など、行く先々で気を遣う場面は多かったですが、体調を崩す人もいなく無事に日程を終え、学校に戻ってくることができたのが、何よりの成果です。10人と少人数なため、準備の段階から一人一人の役割がたくさんあり、大変だったと思います。しかし、各々が持ち味を出し、助け合うことで、たくさんの思い出が残る最高の修学旅行となりました。3日間、安全運転をしてくださった日新トラベルの清水さん、そして、いつも笑顔で接して、話しかけてくれた添乗員の佐野さんに感謝します。さらに、留守の間、学校を守ってくれた5年生をはじめ下級生の皆さん、教職員、そして、いつ行けるかわからなかった修学旅行の取組期間中、体調管理をはじめ支えていただいた保護者の皆様に感謝申し上げます。



学校の玄関前で解団式。最後までしっかりのそんでいました。お迎えに来ていただいた保護者の皆様、日新トラベルの清水さん、佐野さんも、見守ってくださいました。

今度は、家族や友だち、そして、将来は恋人と、今回の見学地に行ってみてくださいね！！

